

## 進藤三雄教授への献辞

総合管理学部長 澤田道夫

進藤三雄先生は、1983年に早稲田大学教育学部英語英文学科を卒業され、高等学校や高専で教鞭を執られた後、オーストラリアのシドニー工科大学およびシドニー大学の大学院で学ばれました。そしてニュージーランド国立マッセイ大学講師を経て、2000年に本学総合管理学部助教授として着任されました。その後、2007年4月に准教授、2010年4月からは教授として、23年間の長きにわたり総合管理学部の発展のためにご尽力いただきました。また、2018年4月から2020年3月まで学部長をお務めいただき、学部を牽引していただいたところです。更に、2021年4月に共通教育センターが設置されてからは、同センターの教授としてセンター運営に中心的な役割を果たされました。2023年3月末日付で定年退職されるにあたり、進藤先生のこれまでのご貢献に対して感謝の意を表し、記念号を捧げます。

進藤先生のご専門は機能言語学、語用論及びコミュニケーション論です。外国の大学で教鞭を執られたほか、言語学の研究のためシドニー大学の言語学部において2008年9月から1年間の在外研究も行われています。その成果は御著書『国際コミュニケーション 必須英語慣用表現』（三恵社、2013）等に結実しています。このような先生の研究業績は、本学部の評価を大いに高めたことは言うまでもなく、これまでの先生のご尽力に感謝する次第です。

先生は教育面についても熱心に取り組まれました。ご担当された全学共通科目の「英語Ⅰ～Ⅵ」では学部生全員を対象に現代の必須言語である英語をご教授いただくとともに、学部専門科目として「社会コミュニケーション」を担当され、多数の学生が受講する講義として人気を博しました。このような成果は先生の深い学識と優しく穏やかな人柄によるものと存じます。

学内業務においても、これまで総合管理学部の様々な委員をお務めいただきました。特に、2018年4月から2年間にわたって学部長の重責を担われ、新カリキュラム実施直後の試行錯誤の時期に生じる様々な問題に取り組み、学部を円滑に運営していただくなど多大なるご貢献をいただいたこと、誠に感謝の念に堪えません。先生のご尽力により、2021年3月には当該カリキュラムの完成年度として最初の卒業生を社会に送り出すことができました。これらの学生達からは、本学における総合管理の学びや他者との協働、充実したゼミ活動について極めて高い評価をいただいたところです。これも先生のご苦勞のあったのことと、改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、23年もの間、本学学生の教育と学部の発展のためにご尽力いただいた進藤先生に学部を代表して感謝の意を表するとともに、ご退職後のご健勝と更なるご活躍を切に祈念いたします。進藤先生、長い間本当に御世話になりました。そして、お疲れ様でした。